

前期

文系

2020年度入学試験学力検査問題

地理歴史・数学

〔人文社会学部，経済経営学部：経済経営学科 一般区分，
都市環境学部：都市政策科学科 文系区分

90分〕

答案用紙

- ・日本史 2枚
- ・世界史 2枚
- ・地理 3枚
- ・数学 2枚

注意

1. 監督員の合図があるまで，問題の内容を見てはいけません。
2. 数学は，筆記用具のほか定規，コンパスの使用を認めます。
ただし，分度器の使用は認めません。
3. 受験番号及び氏名は，答案用紙の所定欄に必ず記入してください。

(例) 受験番号 1234567X の場合 →

		1	2	3
4	5	6	7	X

4. 解答には黒鉛筆またはシャープペンシルを使用し，必ず配付された答案用紙に記入してください。なお，世界史，数学は裏面にも解答欄があるので注意してください。
答案用紙には，解答に関係のないことを記入してはいけません。
5. 字数指定の設問で解答欄にマス目が用意されている場合，アルファベット及び数字は，1マスに2字記入しても構いません。
6. 問題は次に示したページにあります。
 - ・日本史 1ページ～8ページ
 - ・世界史 9ページ～17ページ
 - ・地理 18ページ～26ページ
 - ・数学 27ページ～28ページ
7. 試験中に不鮮明な印刷等に気付いた時は，手をあげて監督員に申し出てください。
8. 答案用紙を切り取ったり，持ち帰ったりしてはいけません。
9. 問題冊子の余白は利用可能ですが，どのページも切り離してはいけません。
10. 問題冊子は，持ち帰ってください。また，試験終了時刻まで退室できません。

地 理

1 次ページの図1は平成21年国土地理院発行の地形図(原寸)である。図1を見て以下の問い(問1～5)に答えなさい。解答は、いずれも解答欄の範囲内に記入しなさい。

問1 海岸線から沖に向かって伸びる点線の地図記号が表す施設は何か、答えなさい。また、この施設はどのような機能をもつのか、この地域の沿岸部の自然環境と関連づけて、図1から読み取れることを、説明しなさい。

問2 「島見町」集落の中心地は、どのような地形に立地するか、答えなさい。

問3 海岸線と派川はせん加治川との間にみられる水田の分布には、どのような特徴があるか、図1から読み取れることを、答えなさい。

問4 派川加治川の北側には、川に沿って分布する地図記号がある。その地図記号は、この地域にアンモニアなどを製造する化学工業が成立する背景となった施設を示している。その施設を答えなさい。また、図1中で、同様の施設がどのような場所に分布するか、答えなさい。

問5 「東栄町」には、競馬場とその関連施設がある。これらの施設がそこに立地した理由を、自然条件と人文条件から説明しなさい。

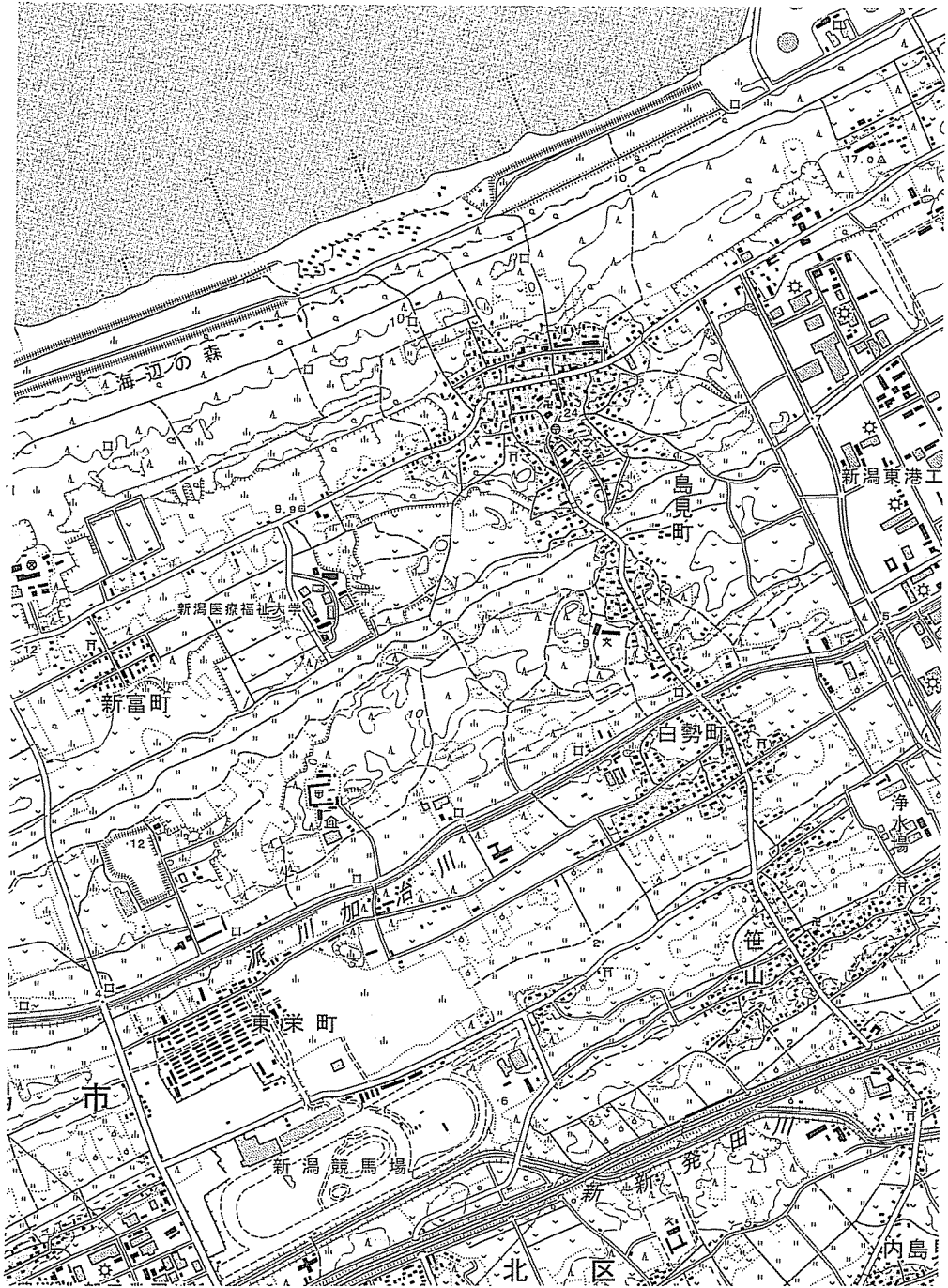


图 1

2 アメリカ合衆国の資源と産業に関する以下の問い(問1～4)に答えなさい。解答は、いずれも解答欄の範囲内に記入しなさい。

問1 次の図2は、いくつかの農畜産物の生産量について、アメリカ合衆国の合計に占める州別*の割合を3段階で示したものであり、ア～ウは、肉用牛、ブドウ、綿花のいずれかである。ア～ウに該当する品目名を答えなさい。また、そのように判断した理由を、自然条件および人文条件を考慮して述べなさい。

*アラスカ州とハワイ州を除く。

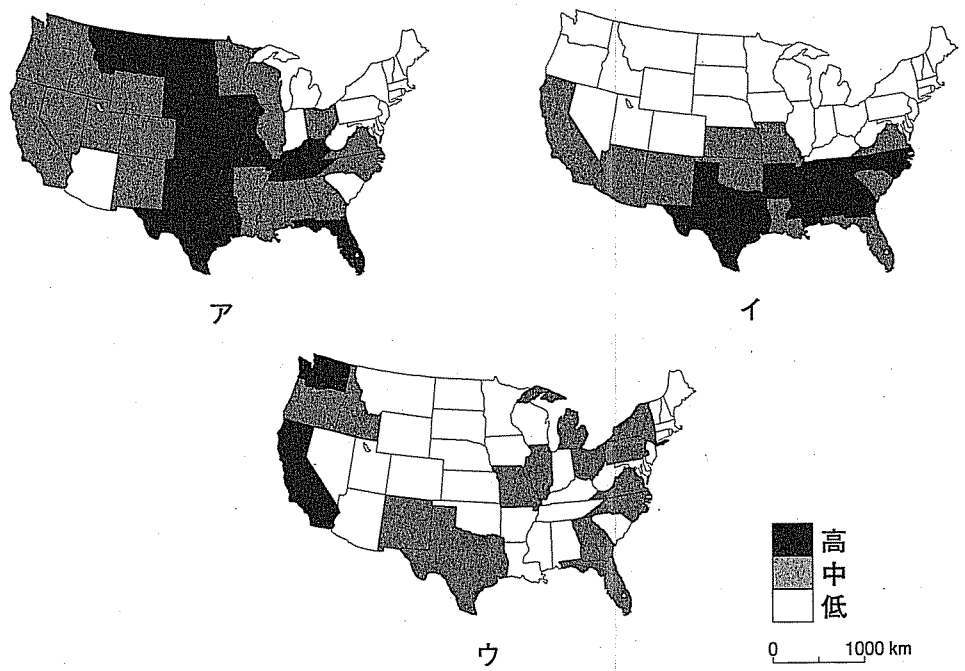


図2

United States Department of Agriculture の資料により作成。
統計年次は 2012 年。

問 2 次の図 3 は、かつて鉄鋼が盛んに生産されていた都市であるクリーヴランドの位置と、鉄鋼の原料となる主な資源の産出地の分布を示したものである。図 3 を見て、鉄鋼業がクリーヴランドに成立した要因について述べなさい。

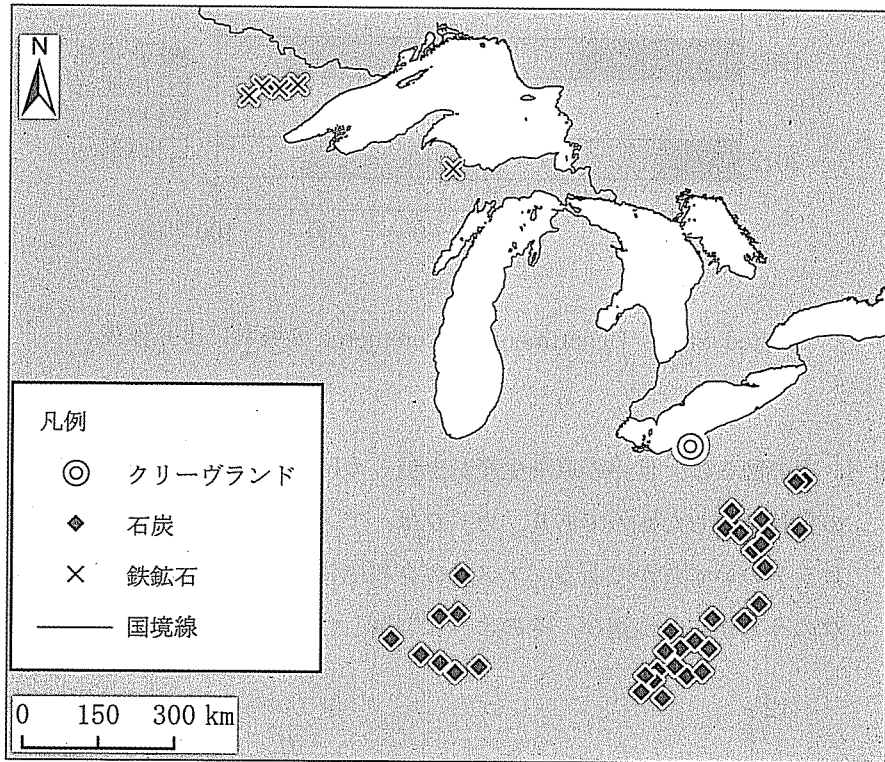


図 3

Diercke Weltatlas により作成。

問 3 次の図4は、1962年と2012年のアメリカ合衆国における製造業生産額の合計に占める地域別の割合を示したものである。図4から読み取れる変化の傾向とその理由について述べなさい。

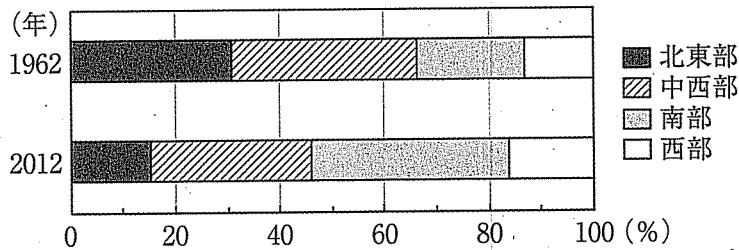


図4

United States Department of Commerce の資料により作成。

問 4 次の図5は、世界の原油生産量上位3カ国について、日生産量の月平均値の推移を示したものであり、カ〜クは、アメリカ合衆国、サウジアラビア、ロシアのいずれかである。アメリカ合衆国に該当するものを、図5中のカ〜クのうちから一つ選び、そのように判断した理由について述べなさい。

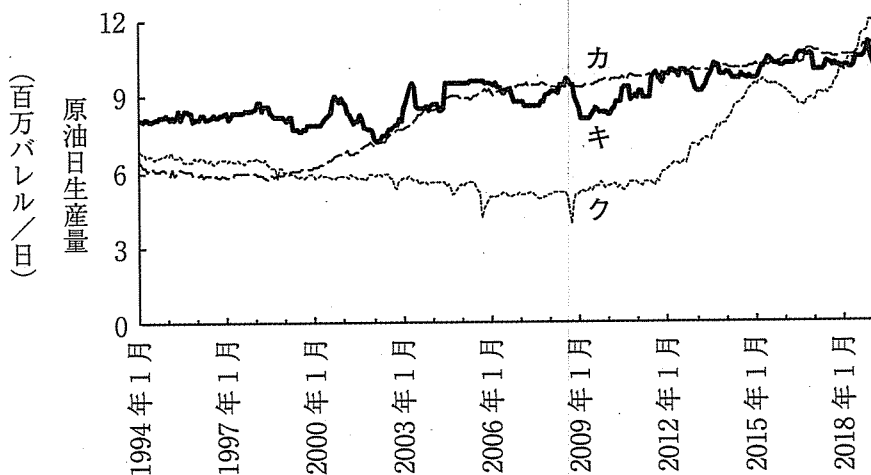


図5

United States Energy Information Administration の資料により作成。

地理の試験問題は次ページに続く。

3 次の文章を読んで、以下の問い(問1～4)に答えなさい。解答は、いずれも解答欄の範囲内に記入しなさい。

世界で生産される主要な農産物のうち、米、小麦、トウモロコシは三大穀物とよばれている。このうち、トウモロコシは21世紀に入ってから主食以外の や としての利用のために栽培面積が広がっており、世界での生産量が最も多い。小麦と米は主食としての生産割合が高く、特に低温で乾燥に強い小麦は、世界各地で広く栽培されている。一方、米は高温多湿で水量豊富な河川が多く存在する において、世界における全生産量の80%以上が生産されている。三大穀物以外において、大豆は貧栄養な土地でも栽培が可能であるが、21世紀以降においても と での生産量が多く、これらの生産国の大豆の輸出量は、世界における全輸出量の約80%を占める。一方、2010年代には、世界における大豆の全輸入量の約60%を が占めており、世界の大豆需給に大きな影響を与えている。

問1 上記文章中の空欄 と にあてはまる語句を、空欄 ～ にあてはまる地域名または国名を、それぞれ答えなさい。

問 2 次の図 6 は、下線部①に関連して、主要な小麦生産国であるアメリカ合衆国、インド、オーストラリア、カナダにおける小麦の作付期、生育期と収穫期を示した小麦カレンダーである。X、Y、Z に該当する国名を答え、そのように判断した理由を国ごとに答えなさい。

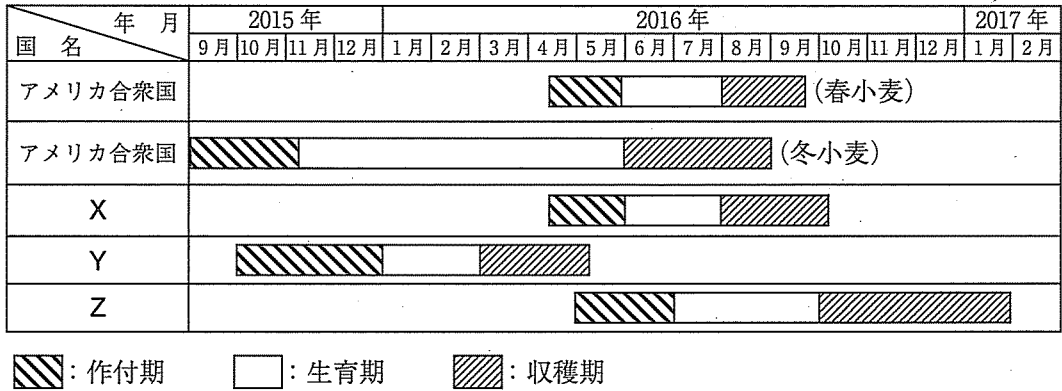


図 6

農林水産省(2017)の資料による。

問 3 次の図 7 は、インドと日本における米の耕作面積と生産量の変化について、1961 年から 2015 年の期間での 5 年ごとの平均値を、その終了年で示している。それぞれの国における米の生産量に変化が生じた理由について、土地生産性に着目して説明しなさい。

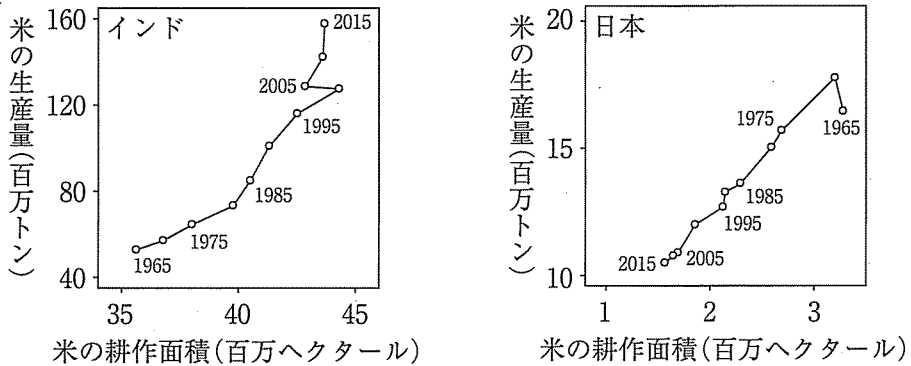


図 7

FAOSTAT による。

問 4 下線部②に関連して、農産物*の輸入はそれらを生産するために使用する水も輸入しているという考え方ができる。このような考え方に基づく水の名称を答えなさい。また、この考え方に基づく日本における水の輸入量は、極めて多いことが試算されている。表1は、この考え方に基づいて算出された、日本における水の輸入量と輸入相手国を示している。日本において、この水の輸入量が多くなる理由について、表1を参考に具体的な農産物名および国名を挙げて説明しなさい。

表1

順位	国名	輸入量(億 m ³)
1	アメリカ合衆国	389
2	オーストラリア	89
3	カナダ	49
4	ブラジル	25

国土交通省(2004)の資料による。

*畜産物生産に用いた作物も含む。

